

Fiery proServer ユーザーガイド

プリンターの強力な生産向上ソリューション Fiery proServer をご購入いただき、ありがとうございます。

はじめに

次が完了していることを確認してください。

- Fiery proServer の物理コンポーネントが取り付けられ、Fiery XF ライセンスが起動されている（『EFI Fiery proServer の概要』および『設置ガイド』を参照）
- プリンターと連動するように Fiery proServer がセットアップされている（『クイックスタートガイド』を参照）

本書について

本書では、Fiery proServer のインストール後に、良好な動作状態を維持するための方法を説明します。このマニュアルでは、次のトピックを取り上げます。

- Fiery proServer の前面パネル（コントロールパネルを含む）（[2ページ](#)を参照）
- Fiery proServer を起動、終了、および再起動する方法（[4ページ](#)を参照）
- Fiery proServer および Fiery XF の言語を変更する（[8ページ](#)を参照）
- Fiery proServer システムをバックアップする（[10ページ](#)を参照）
- Fiery proServer システムを以前の状態に復元する（[11ページ](#)を参照）
- Fiery XF ライセンスファイルをインストールする（[12ページ](#)を参照）
- アンチウィルスソフトウェアを使用する（[15ページ](#)を参照）
- 問題のトラブルシューティング（[16ページ](#)を参照）



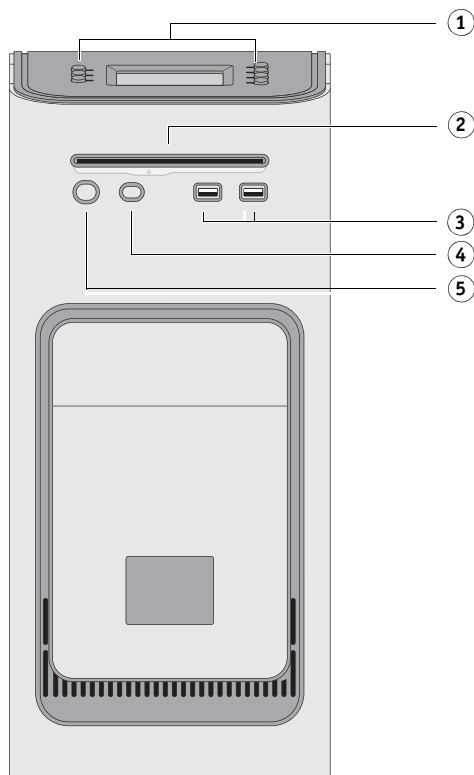
Fiery proServerのコンポーネント

前面パネル

前面パネルは次のコンポーネントで構成されています。

Fiery proServerの前面パネル

- 1 LCDおよびライン選択ボタン
- 2 DVDドライブ
- 3 前面USBポート
- 4 リセットボタン：使用しないでください
- 5 電源ボタン

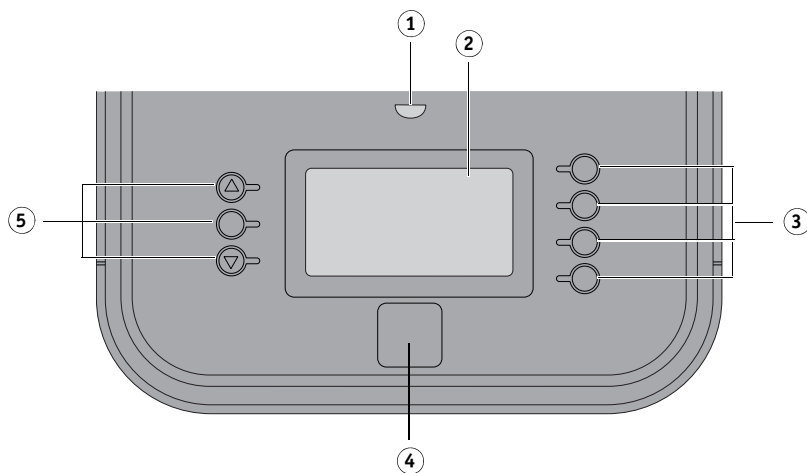


コントロールパネル

コントロールパネルはFiery proServerの前面上部にあります。

Fiery proServerのコントロールパネル

- 1 アクティビティライト (Fiery XFでは使用しません)
- 2 液晶ディスプレイ (LCD)
- 3 ライン選択ボタン
- 4 ジュエル
- 5 ボタン (インストーラーが使用)



注意事項

Fiery proServerのコントロールパネルを使用するときは、次の注意事項に従ってください。

- 液晶ディスプレイ（LCD）の表面を押さないでください。
LCDに圧力を加えると、色が変わります。
- LCDの表面を拭くときは、レンズクリーナーを湿らせた柔らかい布を使用してください。
水などの他の溶剤を使用すると、LCDに傷がつく場合があります。
- LCDの取り扱いには注意してください。
LCDが破損して内部の液晶が漏れた場合、触れないようにしてください。液晶に触れてしまった場合は、すぐに石鹼水で洗い流してください。

ボタン

ライン選択ボタン	Fiery proServerのコントロールパネルの右側にある4つのライン選択ボタン。これらを使用して、LCDの対応する行に表示されているコマンドを選択できます。
上および下ボタン	Fiery proServerでは機能しません。
選択ボタン	Fiery proServerでは機能しません。

コマンド

Fiery proServerのLCDには4つのコマンドがあります。

Fiery proServerのコントロールパネルの右側にある、対応するライン選択ボタンを押して、コマンドを選択できます。

XF Client start (クライアント起動)	Fiery XFを起動し、ジョブのロード、処理、および出力を実行できます。
XF Online update (オンラインアップデート)	EFI Web サイトからソフトウェアのアップデートをダウンロードできます。すべてのアップデートを定期的に検索してインストールし、ソフトウェアを常に最新の状態に保つことをお勧めします。 Fiery XFでは、どのアップデートがコンピューターにインストールされているかを確認できます。「？」メニューから、「Fiery XFサーバー情報」をクリックします。「インストール済みのXFアップデート」タブに、現在インストールされているアップデートの一覧が表示されます。 適用可能なアップデートを定期的に確認することをお勧めします。
XF Profile update	EFI Web サイトから追加のメディアプロファイルをダウンロードできます。
XF Homepage	新しいプログラムバージョンや出力オプションに関する情報が表示されたFiery XF ホームページが開きます。

Fiery proServerを起動、終了、および再起動する

通常、Fiery proServerとプリンターは常に稼働状態にしておくことができます。このセクションでは、必要に応じてFiery proServerを終了および再起動する方法について説明します。

重 要

必ず、次の手順を使用してください。Fiery proServerの前面にあるリセットボタンを使用して、システムを終了または再起動しないでください。

FIERY PROSERVERを終了するには

- 1 **Fiery proServerでファイルの受信、処理、または印刷が行われていないことを確認します。**

システムで処理が完了したばかりのときは、システムがアイドル状態になってから5秒以上待ってから次の手順に進んでください。

- 2 **Fiery XFを終了します。**

「ファイル」メニューで、「終了」をクリックし、Fiery XFクライアントを閉じます。次に、「Fiery XF Control」を右クリックし、「Fiery XF サーバの停止」をクリックしてFiery XFサーバーを停止します。

- 3 **Windowsタスクバーで、「スタート」をクリックしてから「シャットダウン」をクリックします。**

システムを完全に終了します。

FIERY PROSERVERを再起動するには

Fiery proServerにUSBフラッシュドライブが取り付けられている場合は、再起動する前にそれを取り外します。そうしないと、Fiery proServerは再起動しません。

- 1 **Fiery proServerでファイルの受信、処理、または印刷が行われていないことを確認します。**

- 2 **Fiery XFを終了します。**

「ファイル」メニューで、「終了」をクリックし、Fiery XFクライアントを閉じます。次に、「Fiery XF Control」を右クリックし、「Fiery XF サーバの停止」をクリックしてFiery XFサーバーを停止します。

- 3 **Windowsタスクバーで、「スタート」をクリックします。次に、「シャットダウン」の横にある矢印をクリックしてサブメニューを開き、「再起動」をクリックします。**

システムが再起動し、モニターに「ログイン」ウィンドウが表示されるまで待ちます。

- 4 **管理者パスワードを入力し、Enterキーを押します。**

デフォルトの管理者パスワードは「Fiery.1」です。パスワードでは、大文字と小文字が区別されます。ただし、管理者がこのパスワードを変更している場合があります。パスワードを忘れてしまった場合は、Fiery proServerを工場出荷時の状態にリセットする必要があります。詳細については、「[Fiery proServerシステムを以前の状態に復元する](#)」(11ページ)を参照してください。

ログオンすると、Fiery proServerのデスクトップが表示されます。

FIERY PROSERVERを起動するには

- 1 Fiery proServerの背面にある電源スイッチをオン (I) の位置に設定します。

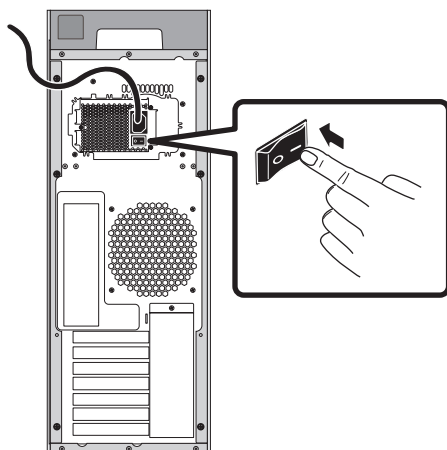


図 1： Fiery proServerの電源スイッチ

- 2 Fiery proServerの電源を入れます。

ボタンを1回押して放すと、システムの電源がオンになります。電源で自動的に正しい電圧が検出されます。

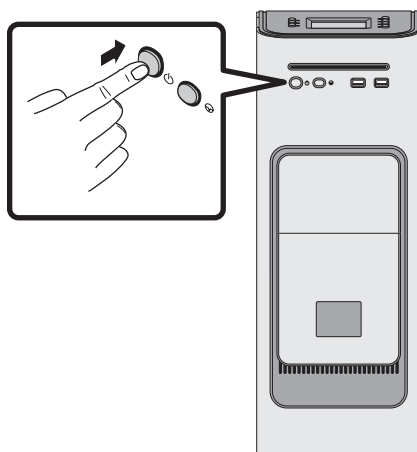


図 2： Fiery proServerの電源ボタン



- 3 モニターのAdmin ログオンで、パスワードフィールドに「Fiery.1」と入力し、Enterキーを押します。

正確に「Fiery.1」と入力してください。パスワードでは大文字と小文字が区別されます。たとえば、「fiery.1」と入力しても無効です。

- 4 Fiery proServerデスクトップがモニターに表示され、Fiery proServerの前面上部にあるコントロールパネルにFiery XFコマンドが表示されるまで、起動処理を進めます。

Fiery proServerの起動処理には、約2分かかります。

デフォルトで、Windows タスクバーは表示されません。このタスクバーには、次が表示されています。

-  Fiery XF Control。Fiery XF サーバーを制御するためのツールです。
-  Fiery OS Tools。オペレーションシステムとキーボード、Fiery XF Control、およびFiery XFの言語を変更するためのツールです。

- 5 Windows タスクバーを表示するには、次のいずれかを実行します。

- タスクバーを表示するには、ポインターを画面の下部に移動します。
- タスクバーを常に表示するには、タスクバーを右クリックしてから、「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ダイアログボックスで、「タスクバー」タブをクリックします。「タスクバーのデザイン」で、「タスクバーを固定する」をオンにし、「タスクバーを自動的に隠す」をオフにします。「OK」をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Fiery XF Controlのアイコンは、タスクバーのステータス領域にすぐに表示されるわけではありません。上矢印をクリックすると、非表示になっていたアイコンが表示されます。次に、Fiery XF Controlアイコンを非表示アイコン領域からステータス領域にドラッグします。

Fiery XF

Fiery XFは、高速かつ高パフォーマンスのラスターイメージプロセッサ（RIP）であり、プリンターの色彩品質と生産性を大幅に向上させます。

Fiery XFライセンスでサポートされているオプションの完全なリストについては、『クイックスタートガイド』を参照してください。

Fiery XFを起動する

Fiery proServerを起動すると、Fiery XFも自動的に起動します。何らかの理由でFiery XFを終了した場合、次の手順でプログラムを再起動できます。

FIERY XFを起動するには

1 以下のいずれかを行います。

- デスクトップでFiery XFクライアントのアイコンをダブルクリックします。



図 3： Fiery XFクライアントのアイコン

- Fiery proServerのコントロールパネルで、「クライアント起動」コマンドに対応するライン選択ボタンを押します。

Fiery XFヘルプにアクセスする

Fiery XFには包括的なヘルプシステムが備わっています。

- このアプリケーションヘルプで、Fiery XFの各機能のセットアップと使用方法に関する詳細情報を入手できます。「ヘルプ」メニューで「ヘルプ」をクリックします。
- 状況依存ヘルプにより、各ペインの設定に関する簡単な説明が表示されます。プロパティインスペクターのメニューボタンを使用して、状況依存ヘルプにアクセスできます。メニューボタンを右クリックし、「ヘルプ」を押します。

ソフトウェアをアップデートする

重 要

Fiery XFの設定を行う前に、ソフトウェアが最新であることを確認します。ソフトウェアをアップデートするには、Fiery proServerをインターネットに接続する必要があります。

コンピューターに最新バージョンのFiery XFがインストールされていることを必ず確認してください。使用可能なプログラムアップデートを検索して、Fiery XFのバージョンが最新であるかどうかを確認します。

最新のシステム環境を使用することが重要です。これらの環境には最新の印刷構成セットが含まれており、最高のパフォーマンスと高品質を実現するために最適化されています。

FIERY XFのアップデートを確認するには

- 1 Fiery proServerのコントロールパネルで「オンラインアップデート」のライン選択ボタンを押します。
- 2 使用可能なアップデートを選択して、ダウンロードします。

各アップデートを番号順に1つずつダウンロードしてください。それ以上アップデートが表示されなくなるまでこの処理を繰り返します。

アップデート済みのシステム環境を確認するには

- 1 Fiery XF Controlアイコンを右クリックし、「Fiery XFオンラインアップデート」をクリックします。
- 2 「Updater」ダイアログボックスで、「次へ」をクリックし、利用可能なアップデートのリストをスクロールします。

システム環境を利用できる場合は、バージョン番号をデスクトップ上のシステム環境のバージョン番号と比較します。

- 3 Webサイトから、最新のシステム環境をダウンロードします。

言語を変更する

Fiery proServerの言語を変更する

必要に応じて、システム言語を変更できます。

メモ：言語の変更には、完了までに最大15分かかります。言語の変更の進行中に中断することはできません。

言語の変更は、オペレーティングシステム、Fiery XF Control、およびFiery XFに適用されます。

FIERY PROSERVERの言語を変更するには

- 1 画面下部のWindowsタスクバーで、地球のアイコンをクリックします。



図 4： Fiery OS Tools

- 2 画面の指示に従って、新しい言語を選択します。

言語の変更を完了すると、Windowsが自動的に再起動します。

Fiery XFの言語を変更する

Fiery XFには独自の言語設定があり、これはFiery proServerに行われた言語設定よりも優先されます。このため、Fiery XFで表示される言語が、オペレーティングシステムやFiery XF Controlで表示される言語と異なる可能性があります。

FIERY XFの言語設定を変更するには

メモ：サポートされているいずれかのアジア系言語を表示するには、Fiery XFがダブルバイトフォント対応のオペレーティングシステムで実行されている必要があります。

- 1 System Managerの「編集」メニューで「言語」をクリックし、いずれかの言語をクリックします。
- 2 Fiery XFを再起動して、新しい言語を有効にします。

表示言語を変更する場合は、その言語用のヘルプセットがインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、ヘルプを使用できません。ソフトウェアDVDから追加言語のヘルプセットをインストールできます。

Fiery proServerシステムを管理する

System Software DVDを使用すると、Fiery proServerシステムを再インストールしたり、それを以前の状態に戻すことができます。System Software DVD 1を挿入すると表示される最初の画面で、Fiery proServerシステムのインストールで使用される言語を選択できます。この言語の選択は、オペレーティングシステム、Fiery XF Control、およびFiery XFに適用されます。詳細については、「[Fiery proServerシステムを再インストールする](#)」(12ページ)を参照してください。

2番目の画面には、次のメニューが表示されます。

コマンド	説明
新規インストール	ハードディスクドライブ (HDD) 上のすべてのデータを削除し、DVDやUSBドライブなどのデータ保存デバイスからFiery proServerシステムをインストールします。詳細については、「 Fiery proServerシステムを以前の状態に復元する 」(11ページ)を参照してください。
バックアップまたは復元パーティションから復帰	ハードディスクドライブ上のすべてのデータを削除し、Fiery proServerシステムを、ハードディスクドライブの隠しパーティションから工場出荷時の状態に復元するか、バックアップから以前の状態に復元します。詳細については、「 Fiery proServerシステムを以前の状態に復元する 」(11ページ)を参照してください。
ハードディスクドライブバックアップ	ハードディスクドライブのバックアップを、USBドライブ、外部ハードディスクドライブ、またはネットワーククレーションなどのデータ保存メディアに保存します。バックアップを使用して、システム構成を以前の状態に復元できます。詳細については、「 Fiery proServerシステムをバックアップする 」(10ページ)を参照してください。
プラットフォームユーティリティ	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスクドライブから、すべてのデータを完全に削除します。 Windowsのタスクマネージャを開いて、プラットフォーム固有の情報を収集します。

Fiery proServer システムをバックアップする

現在の Fiery proServer システムのバックアップを作成すると、工場出荷時の設定に戻すことなく、システムを以前の状態に復元できます。Fiery XF システム構成のバックアップを定期的に作成し、Fiery proServer システムを以前の状態に戻す必要が生じた場合に備えておくことをお勧めします。

ジョブファイルをバックアップすることはできますが、サイズ制限により、「Export」フォルダーに置かれている RTL ファイルはバックアップできません。

メモ：使用されているバックアップメディア、およびジョブデータの量によっては、Fiery proServer システムのバックアップには最大で1時間かかることがあります。

FIERY PROSERVER システムをバックアップするには

- 1 Fiery XFを終了します。
- 2 System Software 1 DVDを挿入します。
- 3 Fiery proServerを再起動します (4ページを参照)。

DVD からシステムが再起動し、Windowsがインストールファイルをロードするまで待ちます。これには数分かかります。
- 4 ドロップダウンリストボックスから言語を選択するように要求されるまで、画面の指示に従って続行します。

この言語を使用して、バックアップ手順が示されます。
- 5 バックアップ用のデータストレージメディアに接続します。
- 6 実行する操作を尋ねられたら、「ハードディスクドライブバックアップ」をクリックします。
- 7 「バックアップ設定」画面で、次を行います。
 - バックアップの保存先として使用するデータ保存メディアのタイプを指定します。

USBドライブ、DVD、ネットワークシェア、または外部ハードディスクドライブから選択できます。
 - システムのバックアップに、Fiery proServerにあるジョブファイルを含めるかどうかを指定します。
 - 起動可能メディアを作成するオプションを選択解除します。

起動可能バックアップは作成しないことをお勧めします。バックアップメディアから起動するには、特定のコンピューター設定が必要です。ご使用のコンピューターでこの設定が行われていない可能性があります。
- 8 画面の指示に従って、システムディスクのバックアップを続行します。
- 9 プロンプトが表示されたら、System Software 1 DVDを取り出し、いずれかのキーを押してWindowsを再起動します。

メモ：Fiery XF ライセンスのコピーを保存しておくことをお勧めします。詳細については、「[Fiery proServer 設定を保存する](#)」(15ページ)を参照してください。

Fiery proServer システムを以前の状態に復元する

場合によっては、Fiery proServer システムを以前の状態に復元する必要性が生じることがあります。これを行うには、次の手順を実行します。

- 以前作成したバックアップを使用する

Fiery XF は、バックアップが作成された時点で最新であったシステム環境を含む、すべての設定が復元されます。バックアップの作成後に行われた設定は、すべて失われます。詳細については、「[Fiery proServer システムをバックアップする](#)」(10 ページ) を参照してください。
- Fiery proServer システムを工場出荷時の状態に復元する

Fiery XF のライセンスと、システム環境を含むすべての Fiery XF 設定が、ハードディスクドライブから削除されます。たとえば、デフォルトのパスワードを変更してそのパスワードを忘れた場合に、Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元する必要があります。
- Fiery proServer を新たに再インストールする

Fiery XF のライセンスと、システム環境を含むすべての Fiery XF 設定が、ハードディスクドライブから削除されます。たとえば、破損したハードディスクドライブを交換後は、Fiery proServer を最初から再インストールする必要があります。

バックアップから Fiery proServer を復元する / Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元する

Fiery proServer システムを以前の状態に復元するには、使用されているバックアップメディアと復元対象のジョブデータの量によっては最大で 1 時間かかる場合があります。

FIERY PROSERVER をバックアップから復元するには / FIERY PROSERVER システムを工場出荷時の状態に復元するには

- 1 Fiery XF を終了します。
- 2 System Software 1 DVD を挿入します。
- 3 Fiery proServer を再起動します (4 ページを参照)。

DVD からシステムが再起動し、Windows がインストールファイルをロードするまで待ちます。これには数分かかります。
- 4 Fiery proServer システムをバックアップから復元する場合は、バックアップメディアを挿入します。
- 5 ドロップダウンリストボックスから言語を選択するように要求されるまで、画面の指示に従って続行します。

これは、復元手順を案内するために使用される言語です。
- 6 実行する操作を尋ねられたら、「バックアップまたは復元パーティションから復帰」をクリックします。
- 7 バックアップソースを選択するように要求されたら、次のいずれかを選択します。
 - Fiery proServer システムを工場出荷時の状態に戻すには、「復元パーティションから回復」をクリックします。
 - 以前に作成したバックアップを復元するには、「このシステムのバックアップを検索」をクリックします。

- 8 画面の指示に従って続行します。プロンプトが表示されたら、ハードディスクドライブ上のすべてのデータを消去することを確認します。

手順の最後に、Windowsが自動的に起動します。

Fiery proServerを工場出荷時の状態に復元した場合は、すぐにFiery XFライセンスを再インストールする必要があります。Fiery proServerをバックアップから復元した場合、ライセンスが既にインストールされています。

Fiery proServer システムを再インストールする

Fiery proServerの再インストールには、最大で1時間かかる場合があります。

FIERY PROSERVER システムを再インストールするには

- 1 以下のいずれかを行います。

- Fiery proServerを実行中の場合は、Fiery XFを終了します。System Software 1 DVDを挿入して、Fiery proServerを再起動します。
- Fiery proServerがフリーズするか、応答しない場合は、システムの電源がオフになるまで、前面パネルにある電源ボタンを押し続けます。電源ボタンを1回押してシステムの電源をオンにしたら、すぐにSystem Software 1 DVDを挿入します。

DVDからシステムが再起動し、Windowsがインストールファイルをロードするまで待ちます。これには数分かかります。

- 2 言語の選択を要求されたら、ドロップダウンリストボックスからいずれかの言語を選択します。

ここで選択した言語を使用して、インストール手順が示されます。

- 3 実行する操作を尋ねられたら、「新規インストール」をクリックします。

- 4 「続行」をクリックして、ハードディスクドライブ上のすべてのデータを消去することを確認します。

- 5 画面の指示に従って続行します。DVDの挿入をに要求されたら、最初にSystem Software 2 DVDを挿入し、次にSystem Software 3 DVDを挿入します。

手順の最後に、Windowsが自動的に起動します。このとき、Fiery XFのライセンスをインストールする必要があります。

Fiery XFライセンスをインストールする

Fiery proServerシステムを再インストールした直後、またはFiery proServerを工場出荷時の状態に復元した場合は、Fiery XFのライセンスをインストールする必要があります。次の方法でライセンスをインストールできます。

- 手動（元のライセンスファイルのコピーがある場合）
- 自動（元のライセンスファイルを保存したコピーがない場合）

既存のライセンスファイルを再インストールする（手動インストール）

FIERY XF のライセンスを手動で再インストールするには

- 1 ドングルが Fiery proServer の背面パネルにある USB ポートにしっかりと挿入されていること、およびドングルの LED が点灯していることを確認します。
- 2 Fiery XF Control アイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「Fiery XF のアクティベーション」をクリックします (Fiery XF Control の表示については、6 ページを参照してください)。
- 3 次のプログラムからこのコンピューターに対して変更を行うことを許可するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
EFI アクティベーションウィザードが起動します。
- 4 「マニュアル」タブをクリックします。

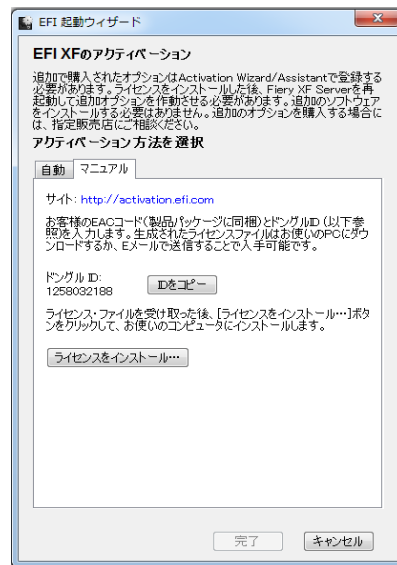


図 5： Fiery XF の手動アクティベーション

「マニュアル」タブを使用して、既存のライセンスを再インストールできます。既存のライセンスがない場合は、「ライセンスファイルを再生成する（自動インストール）」（14 ページ）を参照してください。

- 5 「ライセンスをインストール」をクリックし、ライセンスファイルに移動します。
- 6 ライセンスファイルを選択し、「開く」をクリックします。

ライセンスファイルが、お使いのコンピューター上の FlexLM フォルダーにコピーされます。

- 7 「完了」をクリックしてアクティベーションウィザードを終了します。

ライセンスが自動的に検出されない場合は、Fiery XF サーバーの再起動が必要になることがあります。

これで、Fiery XF を起動して、システム環境をロードできます。詳細については、『クイックスタートガイド』を参照してください。

ライセンスファイルを再生成する（自動インストール）

元のライセンスファイルがない場合は、以前に作成したライセンスをEFI Activation Serverからダウンロードできます。唯一の前提条件は、同じdongleを使用する必要があるということです。

ライセンスファイルを再生成するには

- 1 dongleがFiery proServerの背面パネルにあるUSBポートにしっかりと挿入されていること、およびdongleのLEDが点灯していることを確認します。
- 2 Fiery XF Controlアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「Fiery XFのアクティベーション」をクリックします(Fiery XF Controlの表示については、6ページを参照してください)。
- 3 次のプログラムからこのコンピューターに対して変更を行うことを許可するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

「EFI アクティベーションウィザード」が起動します。

- 4 「自動」タブをクリックします。

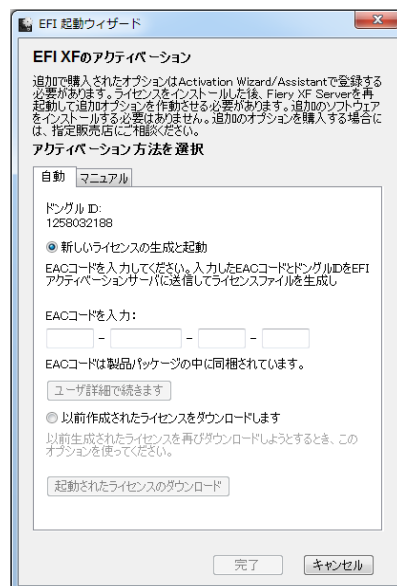


図 6： ライセンスファイルを再生成する

- 5 「以前作成されたライセンスをダウンロードします」を選択し、次に「起動されたライセンスのダウンロード」をクリックします。

ライセンスファイルが作成され、Fiery proServerのFlexLMフォルダーにダウンロードされます。

- 6 「完了」をクリックしてアクティベーションウィザードを終了します。

ライセンスが自動的に検出されない場合は、Fiery XFサーバーの再起動が必要になることがあります。

これで、Fiery XFを起動して、システム環境をロードできます。詳細については、『クイックスタートガイド』を参照してください。

Fiery proServer 設定を保存する

Fiery proServer システムの設定が完了したら、次のことをお勧めします。

- Fiery XF システムのバックアップを USB ドライブ、ネットワーク共有、または外部ハードディスクに保存します。詳細については、「[Fiery proServer システムをバックアップする](#)」(10 ページ) を参照してください。

システムバックアップがあると、問題が発生した場合にシステムを以前の状態に復元できます。使用されているバックアップメディアおよび復元されるジョブデータの量によっては、バックアップ処理に最大1時間かかることがあります。

- Fiery XF ライセンスファイルのバックアップを、ネットワーク共有またはリムーバブルメディアドライブに保存します。ライセンスファイルは、Fiery proServer 上の C:\Program Files (x86)\FlexLM に格納されています。

サイト管理者は、バックアップライセンスファイルにより、Fiery proServer を工場出荷時の状態に戻した後、Fiery XF ライセンスを再起動できます。

- 今後のサービスコールに備えて、Fiery proServer に付属する EAC (エンタイトルメントアクセスコード) およびすべてのメディアを、特定の担当者だけがアクセスできる安全な場所に保存してください。

System Software DVD とエンタイトルメントアクセスコードを使用すると、Fiery proServer を最初から再インストールできます。

アンチウイルスソフトウェア

Fiery proServer には、アンチウイルスソフトウェアがプリインストールされていません。顧客とのファイル交換が頻繁に行われる実務環境では、好みのアンチウイルスプログラムをインストールすることを強くお勧めします。

アンチウイルスプログラムをインストールした場合は、次のネットワークポートがブロックされていないことを確認してください。これらは、Fiery XF の特定の機能に必要です。

ポート	用途
80、443	HTTP/S (Fiery Dashboard を使用する場合に必要)
4108	Epson Spectroproofer
8010	プロキシサーバー
8020、8022、8030、8032	JDF 統合
27000 ~ 27009	ライセンス管理 /EFI Cut Server
50005 ~ 50025	Fiery XF サーバーと Fiery XF クライアント間の一般通信 /Job Monitor
60000	Imgrd TCP ポート

アンチウイルスプログラムをインストールする場合は、ジョブに対するウイルス検知を無効にしないことをお勧めします。

トラブルシューティング

次のセクションでは、Fiery proServer で発生する可能性のある一般的な問題の原因を説明し、その解決方法を示します。

Fiery proServer の設定を確認する

このセクションでは、問題の原因が Fiery proServer の設定の誤りではないことを確認する、簡単なチェック方法について説明します。

次を確認してください。

Fiery proServer が正常に起動している。

起動中に4回のビープ音の後に、3回のビープ音、1回のビープ音、および2回のビープ音が続けて聞こえた場合、メモリーに問題がある可能性があります。認定されたサービス/サポートセンターに連絡してください。

「Fiery XF Control」アイコンが緑色で、Fiery XF Control が実行中であることを示している。

「Fiery XF Control」アイコンは Windows のシステムトレイにあります。このアイコンが赤色の場合は、次を試してください。

- **アイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「Fiery XF クライアント起動」を選択する。**
Fiery XF が dongle とライセンスを検索して表示された、「Fiery XF Control」ダイアログボックスを調べます。
dongle が検出されると、ダイアログボックスに dongle の ID が表示され、ライセンスの検索が実行されます。
 - dongle とライセンスが検出されると、ダイアログボックスが閉じ、「Fiery XF Control」アイコンが緑色に変わります。
 - dongle とライセンスが検出されなかった場合、ダイアログボックスが閉じ、「Fiery XF Control」アイコンは赤色のままになります。以下の説明のように、Fiery XF dongle がしっかりと接続されていることを確認し、「Fiery XF クライアント起動」をもう一度選択します。それでも「Fiery XF Control」アイコンが赤色のままの場合は、[13 ページ](#)で説明されているように Fiery XF のライセンスの再インストールが必要な可能性があります。
- **不正なソフトウェアが Fiery proServer にインストールされていないことを確認する。**
サードパーティのアプリケーションはサポートされず、システムで問題が発生する可能性があります。アンチウイルスソフトウェアは Fiery proServer で使用できますが、ウイルススキャンを実行するのは Fiery proServer がアイドルモード（ジョブの処理や印刷を行っていない状態）の場合だけにする必要があります。

- **Fiery XF ドングルがあり、Fiery proServerの背面にあるUSBポートにしっかりと接続され、LEDが点灯していることを確認する。**

ドングルがUSBポートに接続されていてもドングルのLEDが点灯していない場合は、次を試してみてください。処置を実行しても問題が解決されない場合は、次の処置を実行してください。

- Fiery proServerの背面にある別のUSBポートにドングルを接続します。
- Windowsの「デバイス マネージャー」を開き、ドングルのドライバーが正しくインストールされていることを確認します。
- Windowsアップデートを実行します。
- 次のメーカーサイトから、ドングルのドライバーを再インストールします：
ftp://ftp.aladdin.com/pub/hasp/Sentinel_HASP/Runtime_%28Drivers%29/Sentinel_HASP_Run-time_setup.zip
- 別のドングルを入手して接続します。

プリンターへの接続が正しく設定されている。

次を実行します。

- **Fiery XFを使用して、プリンターでテストジョブを印刷する。**

詳細については、Fiery XF オンラインヘルプと、プリンターに付属するマニュアルを参照してください。

- **プリンターを再起動する。**

問題が解決しない場合は、プリンターのテストと修理が必要です。詳細については、プリンターに付属するマニュアルを参照してください。

- **問題の原因が特定の印刷ジョブまたはアプリケーションではないことを確認する。**

別のジョブを印刷するか、別の印刷アプリケーションを使用してみます。

ネットワークが機能し、Fiery proServerがそのネットワークに正しく接続されている。

次を確認してください。

- **Fiery proServerがネットワーク上のコンピューターのリストに表示されている。**

Fiery proServerがネットワーク上のコンピューターのリストに表示されていない場合は、ネットワーク上の別のデバイスに同じイーサネットハードウェアアドレスが割り当てられている可能性があります。

- **Fiery proServerのDHCP設定が、顧客ネットワークのDHCP設定と一致している。**

モニターにDHCPエラーメッセージが表示される場合は、Fiery proServerが存在しないDHCPサーバーを検索している可能性があります。Fiery proServerでDHCPはデフォルトで有効になっていますが、顧客ネットワークでDHCPが使用されていないことがあります。この場合、Fiery proServerに静的IPアドレスを設定する必要があります。

問題が解決しない場合は、「**インターフェース接続を確認する**」(19ページ)に進んでください。

Program Data ディレクトリで隠しファイルの表示が有効になっている。

特定のトラブルシューティングを実行するには、Program Data ディレクトリにある一部のファイルにアクセスする必要があります。

隠しファイルを表示するには

1. Windows エクスプローラーで、「ツール：フォルダー オプション」を選択し、「表示」タブをクリックします。
2. 「詳細設定」で「ファイルおよびフォルダー：ファイルとフォルダーの表示」を選択し、「隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する」をクリックします。
3. (オプション)「登録されている拡張子は表示しない」を選択解除します。
4. 「OK」をクリックして、変更を確定します。

Job Folder ディレクトリが共有されている。

Hot Folder にアクセスできるように、Job Folder ディレクトリは共有されている必要があります。

JOB FOLDER ディレクトリを共有するには

5. D:¥ドライブで「Jobs」フォルダーを右クリックし、「JobFolder」のプロパティウィンドウを開きます。
6. 「共有」タブ：「共有」ボタンをクリックします。
7. ドロップダウンメニューから「Everyone」を選択し、「追加」をクリックします。
8. アクセス許可のレベルを「読み取り/書き込み」に設定し、「共有」をクリックします。
9. 「終了」をクリックして変更を確定し、「Job Folder」のプロパティウィンドウを閉じます。

Export ディレクトリが共有されている。

Export ディレクトリが共有され、プリンターがRTL ファイルにアクセスして Fiery XF proServer から取得できるようになっている必要があります。

EXPORT ディレクトリを共有するには

10. E:¥ドライブで「Export」フォルダーを右クリックし、「Export」のプロパティウィンドウを開きます。
11. 「共有」タブ：「共有」ボタンをクリックします。
12. ドロップダウンメニューから「Everyone」を選択し、「追加」をクリックします。
13. アクセス許可のレベルを「読み取り/書き込み」に設定し、「共有」をクリックします。
14. 「終了」をクリックして変更を確定し、「Export」のプロパティウィンドウを閉じます。

インターフェース接続を確認する

このセクションでは、問題の原因が Fiery proServer 背面の接続の緩みではないことを確認する、簡単なチェック方法について説明します。

次を確認してください。

- システムへのすべてのコンポーネントとインターフェースのケーブルが、Fiery proServer の背面にある正しいポートにしっかりと接続されている。接続を確認後、Fiery proServer を再起動してください。

Fiery proServer の背面にある正しいポートと接続の図については、『EFI Fiery proServer の概要』を参照してください。
- 電源ケーブルが電源コンセントに接続され、Fiery proServer の電源がオンになっている。

詳細については、「[Fiery proServer を起動するには](#)」(5 ページ)を参照してください。Fiery proServer が起動しない場合は、電源ケーブルを新品またはテスト済みのケーブルと交換してください。
- ネットワークポートの横にある上部 LED が点灯、または点滅してネットワークアクティビティを示している。

上部 LED が消灯している場合は、ネットワークケーブルが Fiery proServer の正しいネットワークポートと、顧客ネットワークのネットワークデバイスに正しく接続されていることを確認します。問題が解決しない場合は、ネットワークケーブルを新品またはテスト済みのケーブルと交換してください。

破損したシステムソフトウェアのトラブルシューティング

Fiery proServer の設定と接続を確認しても問題が解決しない場合は、システムソフトウェアの破損が問題の原因になっている可能性があります。

問題を修正するには、[11 ページ](#)に説明されているように、Fiery proServer システムを以前の状態に復元します。